

感想文

静岡理科大学 芸術鑑賞講座 受講生（抜粋）

■ 目をつぶると伊津子さんの奏でる曲が今でも聴こえてきて、耳が幸せです。もっとクラシックのいろいろな曲を聴いてみたい、と思うことができ感動です。

■ このような素晴らしいコンサートが13年間も開かれていることに驚きました。

■ 目を閉じて聴覚だけに意識をゆだねると、体じゅうが耳になったようで、全身で音楽を浴びる感覚を味わいました。コンサートが終わった後も、長い映画を見ていたかのような心地よい余韻が続き、非常に充実した一日になりました。

■ 会場は思ったより小さかったので、すぐそばで演奏するのを聴くことができ良かった。また、曲と曲と間のトークは楽しく、勉強にもなり、観客と演奏者との間の壁を全く感ずることなくリラックスして聴くことができました。

■ クラシックのコンサートは初めてでした。きっと堅苦しいだろうと緊張していましたが、吉田伊津子さんの音はとても暖かく、聞く前の緊張は消え、普段の疲れも癒されるように感じました。生演奏もCDやテレビ等も変わらないだろうと思っていましたが、とてもなめらかで、きれいで、心地よく、うっとりしました。

■ 正直なところ、始めは寝てしまおうかなと思っていましたが、一度も眠ることなく、しっかりと聞き続けてしまいました。クラシックは理解のできない難しい世界だろうと思っていましたが、ストーリー性を感じることができ、次はどうなるのだろうと考えながら面白く聞くことができました。

■ 演奏が終わって拍手をしながら涙を流している人たちがいて、シューベルトの音楽はもちろんすごいのだろうけれど、それを人に感動を与えるくらいに弾きこなす吉田さんもすごい人なんだと再認識しました。すてきな演奏を聴けて良かったです。一度しかない人生なので、私もさまざま経験をして豊かに生きていきたいと思いました。

■ まさに「音浴」。始まるとすぐに鳥肌がたちました。クラシックにはあまり興味がなく、自主的に聴いたことはなかったので、2時間も聴いていられるのかとても心配でした。ですが、始まった瞬間にそんな思いは吹き飛び、最後まで楽しむことができました。小学生の時に習っていたピアノには魅力を感じず、すぐにやめてしまいましたが、今、ピアノの魅力を知り、感動しました。目を瞑ると頭の中にピアノの美しい音が響き渡ります、そして、つま先まで響くような感じになりました。クラシック音楽がここまで楽しめる音楽だなんて思いもよらず驚きました。今回のコンサートがきっかけとなって、クラシックをもっと聴きたいと強く思うようになりました。ありがとうございました。

■ ピアノコンサートに行ったのは人生で初めてでした。シューベルトという名前も、その曲も初めて聞きました。初めに小さくて愛らしい曲を聴いた後、シューベルトの人生や曲の特徴や歴史的なことも簡単に説明してもらってからコンサートが本格的に始まったので、シューベルトの世界に自然に、しかもより深く引き込まれていきました。伊津子さんの奏でる曲は流れるように響いていて、ホール全体が曲に包まれているようでした。

■ 聴いていて楽しい音でした。ピアノが空気を震わせ、音を通じてその人となりが分かるような、そんな素敵な演奏でした。私も楽器をやっているのですが、その人の魅力が大切なのだと痛感しました。1対多であるのに、1対1のように思わせる技術もあるのかもしれない。

■ この講義を聞くまでは「音楽」というものに一切興味がありませんでした。幼稚園から高校まで音楽の授業は嫌いでした。理由は、音痴で、歌えばみんなに笑われたため、音楽からなるべく遠ざかりたかったら。もういった概念が今日覆りました。ピアノってこんなに素晴らしいものかと正直驚きました。今まで聞いたことのないくらいの迫力ある演奏で、一気に引き込まれました。演奏が終わって我に返り、「すごい」と感じました。この、グッと人を引き込む演奏のコツはなんだろう。気づいたことは、体を使って演奏しているということです。ピアノは指で演奏するものではないかと思う人が多いと思いますが、体を使って演奏することで人を感動させられるのではないか。人を感動させるためには、自分も一生懸命にやらないといけない。今日はとても良い演奏を聞くことができたと思っています。